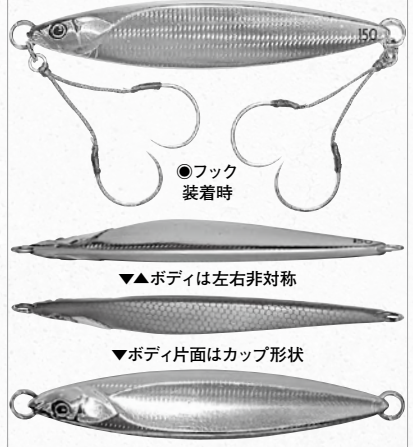


スローは波動が大きいんだ。
だから 魚へのアピール力は強い。



▲良型ピラメが多く釣れ、船長もタモ入れに忙しい
◀ヒラメはフォールでよく釣れた

バンブルズジグ スロー
BamBluz JIG SLOW



★ヨッシーがプロデュースしたスロジグ専用ジグでアシストフックが標準装備。左右非対称ボディで片面が大きく張り出し、もう片面はカップ形状になっていて、滞空時間の長いフォールで魚にジグをじっくり見せて食わせられる。

悩みどころが少ない。

スロジグという釣りが、少し

ずつ近づいてきた。釣れるのか

釣れないのか、という釣果への

不安は相変わらずだが、とりあ

えず釣りはできそうだ。

水平線からゆっくりと昇る太

陽が、オレンジ色の光で空を染

める。薄い雲。のっぺりと穏や

かな海。午前4時45分、第二海

神丸が港を出る。

45分ほど走り、いよいよスロ

ジグ開始である。事前情報どお

り、水深は50メートル前後。砂

地にポツポツと点在する魚礁周

りを狙う。

このポイントではヒラメ、ク

ロソイ、マダイ、青物、そして

イシナギなども釣れるらしいが、

どの魚を釣りたいとかのこだわ

りはない。ジグを食ってくるす

べての魚をガチで釣りたいのだ

緊張の1投目、100グラムのバ

ンブルズジグ スローを落とし

ていたタカハシゴートイソメマ

ン鹿島さんに、いきなりアタリ

が出た。「ホントにスロジギッ

て釣れるの〜？」という疑念が

軽くフツ飛ぶ。

しかし1投目からズゴゴンと
ナイズなアタリがあったものだ
から、「こりやもうイケるだろ
う！」とポジティブになる。
見切りが早く、リズムカルに
流し変えてくれる森船長の操船
も、モチベーションを高めてく
れる。ただ、「勝負は朝のうち
8時までかな」とつぶやいてい
たのが少し気がかりだが……。
そしてテンポよく流し変えて
の2流し目、ズゴゴツというア
タリを得たのは、初スロジギど
ころかジギング自体が2回目、
ふだんはクロダイのへち釣り師

キタ！ キタコレ!!
クーラー満タン早揚がり

スロジギは、その名のとおり
スローにジグを操る釣りだ。ヒ
ラメのようなフラットフィッシ
ュや根魚など、海底に張り付い
ている魚を狙うときには、着底
したらすぐに竿先を50センチほ
ど上げて止め、竿

先を下げるがら
ールを1/4〜1
/2回転する。こ
の繰り返しだ。ス
ローピッチジャ
ークと呼ばれるア
クションである。
ヨッシーがプロ



▲人生でジギング2回目、スロジギ初挑戦の板倉さんが船中第1号となるヒラメを上げた

としてその名をはせている板倉
さんだった。
いきなりのヒラメである。し
かも良型だ。

「うわ、ヤバ。おもしろえ！」

フレッシュな歓声をあげる。

ジグが着底したと同時にアタリ

があり、ポーンとジグを跳ね上

げてフォールさせたら食ってき

た。板倉さんにとっては、スロ

ジギの威力を目の当たりにする

衝撃の1枚だった。

そしてこの1枚こそ、怒濤の

ヒラメラッシュ幕開けののろし
だったのである。

デュースしたバンブルズジグ
スローは、止めた瞬間にシユツ
と横を向き、いち早くフォール
態勢になるよう設計されている。
ここが第1のポイントだ。
その後、竿先を下げたときに